

年間授業計画様式

日野高等学校 令和5年度 教科[公民] 科目[倫理] 年間授業計画

教 科： 公民 科 目： 倫理 単位数： 2 単位
対象学年組： 第3 学年（組～組）
教科担当者：（1～6組：藤田 ）（12組、7組：小寺）
使用教科書：（ 高校倫理「実教出版」 ）
使用教材：（ 最新倫理資料集「第一学習社」 ）

指導内容		科目 倫理 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	倫理とは何か	「倫理」という意味。単なる道徳や規範のことではなく、自分で考え行動する自立の大切さを伝える。	①出席状況 ②取り組み姿勢（集中して聴き、考えているか） ③小テスト・作文課題の提出状況得点 ④定期考査得点	0
	青年期の意義	青年期は「マージナル=マン」「第二の誕生」と呼ばれる責任ある大人への過渡期であり、日々の思索・悩みの大切さを自覚させること。		2
		青年期は「マージナル=マン」「第二の誕生」と呼ばれる責任ある大人への過渡期であり、日々の思索・悩みの大切さを自覚させること。		2
				2
				0

指導内容		科目 倫理 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	青年期の課題	日々の生活の中で直面・葛藤する課題の自覚と解決を「アイデンティティ」確立と防衛機制の観点から考察させること	①出席状況 ②取り組み姿勢(集中して聴き、考えているか) ③小テスト・作文課題の提出状況得点 ④定期考査得点	2
	青年期の課題	日々の生活の中で直面・葛藤する課題の自覚と解決を「アイデンティティ」確立と防衛機制の観点から考察させること		2
	人間としての自覚 思想	①ギリシャ 現代ヨーロッパの文化背景をなす「ギリシャ思想」の理解を深め、現代社会にどう影響を及ぼしているか考察する。		2
	人間としての自覚 教精神	②キリスト ②キリスト 「キリスト教」の精神が現代ヨーロッパの思想・日常生活にどのような影響を与えたか、わが国文化とのつながりを考察する。		2
	中間考査実施			0

指導内容		科目 倫理 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	人間としての自覚 思想	①イスラム 3代宗教のひとつである「イスラム教」が世界にどう影響しているか？ また現代の課題である宗教紛争はなぜ起こるのか、宗教が人間に及ぼす力を考える。	①出席状況 ②取り組み姿勢（集中して聴き、考えているか） ③小テスト・作文課題の提出状況得点 ④定期考査得点	2
	人間としての自覚	①仏教 インド・アジア地域を中心に日本も含む文化圏に「仏教」精神がどう定着しているか日常生活の中からその影響を考える。		2
	人間としての自覚 「小論文課題」	「小論文課題」 現代社会に影響を及ぼす宗教・文化を考え、人間の思想にどう影響を及ぼしたか800字程度でまとめる小論文を実施する。		2
	人間としての自覚 「小論文課題」	「小論文課題」 現代社会に影響を及ぼす宗教・文化を考え、思想にどう影響を及ぼしたか800字程度でまとめる小論文を実施。どのような考察がなされたか、いくつか典型例を示し多様な考えがあることを自覚する		2
	人間としての自覚 国思想	「中 日本文化に大きな影響を与え続けている「儒教精神」がどのように誕生し、日本でどう変遷・昇華されて現代に続いているか考察する		0

指導内容		科目 倫理 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	日本人としての自覚 ざした日本文化 期末考查実施	生活に根 古代日本の文化を学び、日本人独自の自然観・道徳観・信仰宗教観がどう 誕生したか学ぶ。	①出席状況 ②取り組み姿勢（集中して聴 き、考えているか） ③小テスト・作文課題の提出 状況得点 ④定期考查得点	2
		古代日本の文化を学び、日本人独自の自然観・道徳観・信仰宗教観がどう 誕生したか学ぶ。		2
	日本人としての自覚 論文課題」	「小 西洋思想と東洋思想が現代日本の生活においてどう融合し影響を与え 合っているか具体的な項目をテーマ設定し800字程度で完成させる。		0
				0
				0

8月	指導内容	科目 倫理 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
				0
				0
				0
				0
				0

		指導内容	科目 倫理 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月		西洋思想の受容と展開	近世日本がキリスト教を根底に置く「自由民権思想」の影響をどう受容し、日本文化の中に取り入れてきたか考察する	①出席状況 ②取り組み姿勢（集中して聴き、考えているか） ③小テスト・作文課題の提出状況得点 ④定期考査得点	2
		科学技術の発達と現代文明	科学技術の発達が実生活にどう影響を与えてきたか、日本固有の文化・文明にどう貢献したか考える。		2
		民主主義と国際化	国際社会を貫く根源的価値観「民主主義」が、どういう過程で誕生し日本に影響を与えてきたか考察する。		2
		現代に生きる人間の倫理	西洋文明の価値観を形成する「ルネサンス」「宗教改革」の歴史を俯瞰し日本独自の価値観との共通性と差異を確認する。		0

		指導内容	科目 倫理 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月		現代に生きる人間の倫理	西洋文明の価値観を形成する「ルネサンス」「宗教改革」の歴史を俯瞰し日本独自の価値観との共通性と差異を確認する。	①出席状況 ②取り組み姿勢(集中して聴き、考えているか) ③小テスト・作文課題の提出状況得点 ④定期考査得点	2
		現代の自然観	人間と環境との関わりを「自然」との強制の観点から多角的に考察する。		2
		民主社会と自由の融合	ドイツ観念哲学「カント」「ヘーゲル」哲学を簡単に理解し、特に西欧文明に与えた影響を考える。 中間考査実施		2
		「個人」と「社会」とのつながり	個人の生活や価値観が社会全体にどう影響を及ぼし公共の利益と調和して生きていくか考える。		0

		指導内容	科目 倫理 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月		「個人」と「社会」とのつながり	個人の生活や価値観が社会全体にどう影響を及ぼし公共の利益と調和して生きていくか考える。	①出席状況 ②取り組み姿勢(集中して聴き、考えているか) ③小テスト・作文課題の提出状況得点 ④定期考査得点	2
		「理性」とは何か	人間の調和を保つ「理性」とは何かを考える。単なる抽象的な思いつきではなく、脳の構造から考察する医学・心理学等根拠のある考察をする。		2
					2
		生命の倫理	「脳死」「体外受精」「遺伝子コントロール」等、生命の定義を考え、生命尊重の意義を学ぶ。		2
					0

指導内容		科目 倫理 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	生命の倫理	「脳死」「体外受精」「遺伝子コントロール」等、生命の定義を考え、生命尊重の意義を学ぶ。	①出席状況 ②取り組み姿勢(集中して聴き、考えているか) ③小テスト・作文課題の提出状況得点 ④定期考査得点	2
	環境の倫理 期末考査実施	人の生活を成り立たしている「環境」を単に自然観としてではなく、住環境・交通環境等、多角的視点から考察する。		2
	高度情報化社会の諸課題	日進月歩の状況にある情報化にあって、人の尊厳を傷つける人権侵害等、従来想定していなかった諸課題を認識する。		2
				0
				0

	指導内容	科目 倫理 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	異文化理解	各国の文化と日本の文化を比較考察し、違うことを認め合い互いの文化を尊重する精神を学ぶ。	①出席状況 ②取り組み姿勢(集中して聴き、考えているか) ③小テスト・作文課題の提出状況得点 ④定期考査得点	
	人類の福祉と平和	近代社会を「戦争の歴史」と捉え、殺戮の連鎖が続いている問題を「人の心」の観点から考察する。		2
	人類の福祉と平和	近代社会を「戦争の歴史」と捉え、殺戮の連鎖が続いている問題を「人の心」の観点から考察する。		2
				0

		指導内容	科目 倫理 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2月					0
					0
					0
					0
					0

3月

指導内容	科目 倫理 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数